

ご挨拶

専務理事 磯道 忠男

今年度、公益社団法人呉青年会議所は新元号としての元年を迎える運びで、それと共に豪雨災害の復興元年も迎えました。

この様な困難な時こそ、復旧と同時進行で、装いも新たに復興が必要です。我々ができる復興は、その思いを広げる事に他なりません。そのためには、当青年会議所メンバーが率先して、その熱い思いを胸に行動する事が必要だと確信します。

今年度のスローガンは「T o B e W i t h !!」です。メンバーと共に、協力者と共に、呉市民と共にという意味です。小さな力も、たくさん集まれば大きな力に変わります。それは感動を呼び、伝播するものと確信します。その運動は、当青年会議所メンバーと同様、更に能動的呉市民から循環し、自ら考え力を合わせ、より良いまちへと発展させていくことに違いありません。

今年度専務理事として、創立67年目の呉青年会議所運動の運営をお預かりしました。それを先導する立場として、そしてリーダーたる井本理事長の思いを具現化する立場として、邁進して参ります。いくら良い指導者がいても、いくら良いリーダーがいても、誤った方向に先導してしまうと目的を達する事はできません。専務理事という役割を自らにしっかりと言い聞かせ、呉青年会議所という団体が、思い描く方向に向かう様、1年間覚悟を決めて臨む所存です。

最後に本年度、専務理事という役を与えて頂いたことに感謝し、私の持ち味でもある「何事も取り組んでみる」と共に、謙虚に1年間尽力を致しますので、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

ご挨拶

事務局長 新谷 敬仁

呉青年会議所は、呉のまちを明るい豊かな社会にするために、66年間活動をしてまいりました。私は2015年に入会してたくさんの人と出会い、色々な事業を重ねて入会前には経験できなかったことを呉青年会議所に経験させてもらいました。呉のまちにある課題の解決に挑戦していく中で、自分自身の成長にもなっていると感じる事が出来ました。

呉市は、豪雨災害の被害に遭い、復旧復興していくなかで多くのボランティアの方々に助けられました。私自身ボランティアとして活動するなかで、一人では出来ないことも多くの助けを借りることより大きな力を生み出す現場に直面し、人と人の繋がり大切さを実感いたしました。本年度のスローガン「To Be With!!」は、今の呉に必要な言葉です。市民と一緒に「明るい豊かな社会」のために力を合わせ、大きな力となるよう邁進してまいります。

2019年は、呉青年会議所の公益法人法に基づいた予算の作成、会計を担当する事務局長を拝命させて頂くことになりました。公益社団法人として市民の信頼にこたえる透明度の高い組織運営を実現するために、客観的な視点から予算の作成、会計にかかわる内容を確認し、効果の高い事業を実地する組織となるために、妥協なき予算書作成指導と議案審査を実施致します。

まだまだ未熟者ではありますが、呉青年会議所の事務局長として1年間精一杯やりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。